

クラス3位でフィニッシュ、シリーズ2位に

スーパー耐久シリーズ2008第6戦 「SUGOスーパー耐久500kmレース」

2008年11月1日～2日

チーム名	: チームホンダアクセス<ゼッケン 76>
クラス	: スーパー耐久 ST-4クラス
マシン名	: Racing Modulo TYPE R
ドライバー(決勝周回数)	: 小林正吾 (50周)、玉本秀幸 (75周)
戦績	: 予選 クラス3位/決勝クラス3位 総合17位
獲得ポイント	: 15点/合計106点 シリーズ2位
天候	: 晴れ
出走台数	: 33台

2008年スーパー耐久シリーズ第6戦「SUGOスーパー耐久500kmレース」がスポーツランドSUGOで開催された。1ポイント差ながら、シリーズトップに立つTeam Honda Accessは、シビック有利と考えられるコースにあわせるべくマシンを煮詰め、万全の体制でサーキット入りした。

11月1日「予選」

今回STクラス4にはシビック5台、インテグラ6台の計11台がエントリー。金曜日の練習走行ではこれまでより上位マシンとの差も少なく、期待を胸に土曜日の予選に臨んだ。Aドライバーの玉本秀幸は自己ベストタイムとなる1分34秒686をマークして3番手につける。

また、Bドライバーの小林正吾も頑張りを見せ、玉本を上回る1分34秒532をマーク。合算タイム3分09秒218でクラス3番手を確保し、シビック勢トップ。スポット参戦の#31号車インテグラが2番手と、シリーズを争う上で難しい展開となった。

11月2日「決勝」

今回の決勝はいつもと戦略を変えるべく、小林がスタートを担当した。そして快晴のもと12時にレースがスタート。小林は、混戦の中1周目に4番手に後退するものの、2周目にはこれを抜き返し、1分35秒台で順調に周回を重ね、後続とのマージンを広げていく。しかし前を行く2台のインテグラ勢は1周につき0.5～1秒ほどの差で離れていく。タイム差は少なくなっているものの、やはり苦しい展開に変わりはない。

小林は予定どおりロングステイントとなる50周を走り、ピットイン。玉本がフレッシュタイヤで追い上げるべくレースに戻った。玉本も1分35秒台というインテグラ勢に劣らないペースで前を行く2台を追いあげる。ピットインのタイミングも手伝って、一時は2番手に浮上し、さらにトップを追いかけるものの、その差は1周ついていた。

91周目に2度目のピットインでフロントタイヤを交換し、3番手に後退する。ここから再び上位陣へ追い上げをはかるが、抜くには至らず3位でフィニッシュ。シリーズランキングで2番手となり、最終戦に逆転チャンプへの望みをかけることとなった。

その最終戦は11月15日～16日にツインリンクもてぎで開催される。15日の最終戦の他に、16日には初の試みとなるオーバルコースでのスペシャルレースも開催される。Team Honda Accessの活躍にご期待ください。

お客様からのお問合せは 株式会社ホンダアクセス お客様相談室 0120-663521へお願いいたします。
受付時間:9時～12時 13時～17時 (土日・祝祭日を除く)